

No. 76

2010

6月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大沢 操
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



山の大木が 郷に降りて神となる

三月二十八日、萩山神社の御柱祭が行われました。この日は天気もよく、大勢の氏子の皆様に見守られての曳行でした。

萩の郷に響く木遣りの唄、御柱曳行の掛け声、ラッパ、皆の力で、無事萩山の社に建てられました。

村井知事が諏訪の御柱に参加し、感想として「魂揺さぶられた。住民全員参加型が素晴らしい。」と述べられました。勇壮な木落とし、川越えが木遣りの掛け声に合わせて引き上げられ、地域ごとの振る舞い酒と、正に今回の御柱は萩山神社氏子全員の参加の祭りでした。

特に女性、子供木遣りの透き通った声は爽やかささえも感じさせてくれました。

二本の御柱が萩山神社に天高く建立されると、下市田区民の心は一つになり、五穀豊穰、商売繁盛、家内安全を祈り、幕を閉じました。

区の情勢について

区長大沢 操

害時の対応等を考える、団員の確保は大変大

下市田区の人口は四千七百三十二人、内男性二千二百七十一人、女性二千四百六十一人、六十五歳以上は千二百九人で、世帯数千四百六十四戸、内アパート百二十一戸、独立世帯百八十一戸となっております。

萩山神社式年御柱祭が三月二十八日、氏子の皆さん総出で行われました。怪我人も無く無事御柱を建立できたことを感謝いたします。

今年度の道路・水路等の改修計画は、道路改修六箇所、道路安全施設五箇所、水路改修九箇所を予定しておりますが、その他の事業は、地区計画に基づき実施いたしますのでご協力をお願いいたします。

日赤奉仕団員が区全体で十五名になつてしまいました。区の事業や災

平成二十一年度決算の
監査委員所見

監査委員長 中村 實

平成二十一年度の下市田区・公民館・萩山神社の決算監査を四月二十三日に行った結果、各会計共収支の計算上のミスは皆無と言って良い。

所見として公民館の視察研修を次年度に繰越さず当年度の消化を原則としたい。萩の郷祭りで公職に携わる人からの寄付は注意したい。尚公民館の役員報酬の規程が無いので報酬審議会の有る時は検討願いたい。支出面で支館の会議の減、案内文書の郵送を手渡しへ、酒席懇親会の取り止め等で得た余剰金で備品購入した事を高く評価したい。



平成21年度 下市田区一般会計決算報告書

(自平成21年4月1日～至平成22年3月31日)

決算収入額 38,209,598円 決算支出額 31,688,508円 差引残高 6,521,090円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
1. 区 費	15,700,000	15,830,900	130,900
2. 繰 入 金	1,084,000	1,299,759	215,759
3. 町 支 出 金	6,600,000	9,682,147	3,082,147
4. 財 産 収 入	1,200,000	1,436,267	236,267
5. 地元負担金	670,000	428,277	△ 241,723
6. 消防義務金	2,000,000	1,940,000	△ 60,000
7. 諸 収 入 金	5,300,000	4,199,806	△ 1,100,194
8. 前期繰越金	3,392,442	3,392,442	0
合 計	35,946,442	38,209,598	2,263,156

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
1. 総 務 費	12,850,000	12,057,669	△ 792,331
2. 環境衛生費	870,000	634,358	△ 235,642
3. 林 務 費	830,000	802,293	△ 27,707
4. 土 木 費	3,163,000	2,555,279	△ 607,721
5. 水 利 費	9,000,000	9,560,624	560,624
6. 防 災 費	2,430,000	2,403,035	△ 26,965
7. 公 民 館 費	3,000,000	3,000,000	0
8. 予 備 費	3,803,442	675,250	△ 3,128,192
合 計	35,946,442	31,688,508	△ 4,257,934

平成21年度 高森町公民館下市田支館決算報告書

(自平成21年4月1日～至平成22年3月31日)

決算収入額 3,904,259円 決算支出額 3,378,892円 差引残高 525,367円

【収入の部】

科 目	予算額	決算額	増 減
繰 越 金	243,000	243,315	315
繰 入 金	3,000,000	3,000,000	0
補 助 金	370,000	606,182	236,182
雑 収 入	1,000	54,762	53,762
合 計	3,614,000	3,904,259	290,259

【支出の部】

△印減 (単位 円)

科 目	予算額	決算額	増 減
総 務 費	1,930,000	1,617,341	△ 312,659
事 業 費	1,610,000	1,696,433	86,433
広 報 費	10,000	30,918	20,918
予 備 費	64,000	34,200	△ 29,800
合 計	3,614,000	3,378,892	△ 235,108

下市田区常会長・ 委員合同会議報告

副区長 福島正夫

去る四月十八日(日)午後三時より区民会館に於いて、恒例となっており、十二年度の標記会議が開催されました。

下市田区では区運営規程の中で第二章機関第四條に「区に次の機関を置く」として常会長を各常会に一名と規程されています。よって常会長さんは区の委員会と同様、機関の一組織(員)であります。但し運営に関して区三役、代議員、各委員(会)が直接当たる規定であります。

この合同会議は常会長さんの区機関位置付けの中で年間二回(四月・翌年三月)開催されていますが、常会長さんの出席率がやや低いのが残念であり、常会長さん方には区組織の最先端で御協力頂いている処ですので、直接区に對し要望意見を頂ける唯一の機会であり、ますので都合差繰っての出席を御期待いたします。

「朝霧サロン」は、お助けマンの方々のご尽力と参加される皆様の笑顔に支えられ早十年を迎えました。又若い仲間の共星会が力強い原動力となつて自治会を元気づけてくれ、地域農政では遊休農地を借り馬鈴薯と大根の栽培を、「朝霧ソバの会」のわんこソバが納涼祭に毎年人気メニューになっております。地域の行事には皆様が気軽に参加し、身心共に健康で一層活力のある楽しい地域の発展を願っております。

地域の紹介

二区自治会長

福島照義

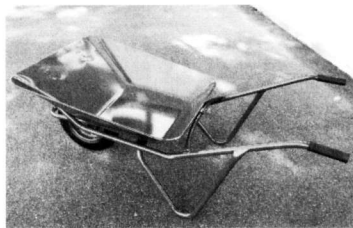
下二会館は下市田河原の段丘の上にある眺める景色は格段と素晴らしく、眼下には昨年開通した農免道路、秋には広がる水田の黄金色の稲穂の波が一段と目に入ります。

世帯数・人口共に近年大きな変化は無く、自治会加入戸数百二十六戸、七常会、十五組合と小じんまりとまとまった地域です。自治会の事業



は分館と一体となつて地域の親睦と融和をはかる為に常会対抗のペタンク大会から始まり、納涼祭・ふれあい運動会、元旦は下二会館での新年会等、多くの皆様の参加のもと親睦を深めております。又グループ活動も盛んで、百円会費のお茶飲み会として発足した

平成二十一年度末に日赤奉仕団役員を退任された皆様から区へ、一輪車一台、コップ四ダースを寄贈していただきました。ありがとうございます。とうございませう。大切に使用させていただきます。



平成22年度 高森町公民館下市田支館 歳入歳出予算書

(自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日)

【歳入の部】

科 目	本年度予算額
繰越金	525,000
繰入金	3,000,000
補助金	520,000
雑収入	1,000
合 計	4,046,000

【歳出の部】

(単位 円)

科 目	本年度予算額
総務費	2,270,000
事業費	1,745,000
広報費	10,000
予備費	21,000
合 計	4,046,000

平成22年度 下市田区一般会計 歳入歳出予算書

(自 平成22年4月1日～至 平成23年3月31日)

【歳入の部】

科 目	本年度予算額
1. 区 費	15,700,000
2. 繰入金	1,100,000
3. 町支出金	7,000,000
4. 財産収入	1,050,000
5. 地元負担金	500,000
6. 消防義務金	1,900,000
7. 諸収入金	1,500,000
8. 前期繰越金	6,521,090
合 計	35,271,090

【歳出の部】

(単位 円)

科 目	本年度予算額
1. 総 務 費	12,850,000
2. 環境衛生費	1,010,000
3. 林 務 費	830,000
4. 土 木 費	3,067,000
5. 水 利 費	6,825,000
6. 防 災 費	2,754,000
7. 公 民 館 費	3,000,000
8. 予 備 費	4,935,090
合 計	35,271,090

地元町議との懇談会

平成二十一年度、地元出身町議会議員との懇談会が、去る二月十三日(土)午後七時より下市田区民会館に於いて開催されました。

【関島議員】私も高齢であり高齢者の立場で頑張っていきたい。

一歳から五歳までの子供がかかる細菌性髄膜炎の予防に必要なビブワクチンは、一人二万円かかる現状に対して、補助するよう提案している。

(注・四月より実施された。)

議員としての感想 取り組んでいる事

【宮外議員】天竜川の北部架橋(アピタから豊丘への橋)二十四年度までには難しいが、毎年陳情。工場団地のHOYA跡地に飯田精密、北星ハウス空き地に豊丘の運送会社、三洋工具が入る予定だったところは保留の状況。

【小島議員】昨年は国政選挙で民主党に政権が変わった事で、コンクリートから人へとソフト面が大きく舵をとっていく年になると思われる。

先の町長選は無投票で



学力テストを一律にやるのではなく、子供の人格を尊重してやるよう、教育長に話をしている。

【福沢議員】選挙は地域の声が一番聞ける大事な場である。選挙になっていい体験ができた。皆様にお届けしている議会便りの編集委員をやらせてもらっている。

認知症の人が増えている中で、これからは地域の支え合う場が無いとやっていけない。誰もが安心して住める高森町を目指して取り組んでいきたい。

質疑応答

Q 任期中に絶対やりた

い事はなにか。

A 議会のありかた研究会で議員の定数と議員手

当について研究したい。

A 下市田区を含めて全

体の街路計画を進めてい

きたい。

A いわゆる青線、赤線

の払い下げを従来は宅地

並み単価でやっていたが、

もっと安い単価で払い下

で、一気の増水時に対応できるよう考えていきたい。

A 藤ヶ丘病院近くの国道交差点で犠牲者がでた。信号機を設置するよう要望している。四億円から五億円かかるだろうが、平面図を画いて動いてもらうようにしたい。

A 高森町は元気がない町だ。一人ひとりの声が町に届いているのだろうか。疑問な点が多い。声が生かされる様な町にしたい。

Q 牛牧地区の、二千㎡のキノコ栽培建物やマンションなどの排水が下市田に流れてくる。地区計画は自分の区だけを計画するが、水は地区を越えて流れてくる。上段の開発に関して下市田区にも連絡するようにしてもらいたい。また、工事が全部地元負担とならないように考えて欲しい。

Q 地区計画が全てであるという町の考えがまずいのではないか。基本の計画は町で考えるようお願いしたい。

A 町に働きかけていく。

Q 特養の入居者は現在申し込み順に入居させているが、重症な人から優先して入れてもらえる枠を取ってもらいたい。

A あさぎりの特養は六十四床になったので入所できる人は少し増えたが、ショートステイが四床少なくなった。

Q 予算の基本計画をきちんとしてやってもらいたい。

A 八千三百万円の税金の未納がある。また、保育園料や水道、下水道な



どで三千三百四十万円が未納である。

コンクリートは五十年で劣化するが、築三十年の役場、築三十五年の浄水場をどうするか考える必要がある。

Q 下市田区の課題は何か? また、リニア中央新幹線についての考えは? A 広域連合会議には高森町からも出席しており、リニア新幹線はCルート

を絶対に希望している。A 出砂原地区商店街の活性化や、街路の整備。そして踏切の問題も解決していきたい。

A 高齢者が増える中、ラクターでも安全に通れる道路ができればいいナードと思う。出砂原の国道交差点には横断陸橋があるが、高齢者は上り下りが大変だ。横断歩道を作って欲しい要望がある。

A 中学校の改築が町の大きな課題だ。A 日赤奉仕団の加入者が少なくなっている。災害時を考えると心配だ。A 女性ふるさとの組織はあるが、予算は出ていないもの額が少なすぎる。

わたしの作文

ぼくの作文

高森女子バスケットボール部

中二 蜂谷 梓(二区)



私は女子バスケットボール部に入っていて、今数えたと約五年バスケットをしています。小学校三年の冬に友達にさそわれミニバスに入り小学校六年の時に副キャプテンをやりました。

そして中学生になり高森中の女子バスケットボール部に入りました。ミニ

ぼくが今がんばっている事

小六 柴 亮介(六区)

ぼくが今がんばっている事は二つあります。

一つ目は水泳です。

ぼくは二年生の時に、スイミングに通い始めました。

なかなか平泳ぎができなくて覚えるのに時間がかかったけど、今ではしっかり泳げるようになりました。春の短期スイミング

バスのころのメンバーに初心者です。引退した三年生の先輩も今の先輩もシューバトが入ったらみんな喜んでたり味方をはげましたり時にはアドバイスをしたりしてとにかく「かっこいい」と思いました。

それが女バスの良い雰囲気につながっているんだと思います。私も先輩達と一緒に試合に出してもらいミスした時には「大丈夫、一杯がんばりたいです。そしてこの良い雰囲気を受けついでいきたいです。」

新しい一年生も入り約一ヵ月後にはもう中体連です。

先輩達の力になれるよう精一杯がんばりたいです。そしてこの良い雰囲気を受けついでいきたいです。

グではタイムをあげるようにがんばったので、五級に合格しました。でもぼくの目標はお姉ちゃんが六年生の時にもつていた三級をぬかすことなので、中学生になるまでに三級以上を取りたいです。あと十ヵ月、もっともっとタイムがあがるようにがんばりたいです。

二つ目は野球です。野球は三年生の七月から、スポーツ少年団に入っ

て始めました。六年生になってからは、毎週大会や練習試合があります。ぼくは外野を守っ

ています。六年生になってからは、毎週大会や練習試合があります。ぼくは外野を守っ

ています。六年生になってからは、毎週大会や練習試合があります。ぼくは外野を守っ

ています。六年生になってからは、毎週大会や練習試合があります。ぼくは外野を守っ

ています。六年生になってからは、毎週大会や練習試合があります。ぼくは外野を守っ

平成22年度 高森町公民館下市田支館事業計画

平成22年度 高森町公民館下市田各分館事業計画

月日(曜)	事業名	内容
6月1日(火)	*区報・館報「萩の郷」76号発行	・年3回発行
7月24日(土)	*萩の郷祭り	・盆踊り ・子供花火大会 ・演奏、演技(保育園児) ・お楽しみコーナー
10月16日(土)～17日(日)	*文化祭り 萩の郷ふれあい広場	・作品展示 ・消防ふれあい広場 ・舞台発表
11月1日(月)	*区報・館報「萩の郷」77号発行	
11月20日(土)～21日(日)	*町ふるさと祭りでテント村出店	・おしのご無料サービス(2,400食予定)
23年2月1日(火)	*区報・館報「萩の郷」78号発行	
2月12日(土)	*地元出身町議会議員との懇談会	・テーマを決めそれに対する考えを聞く ・町議からの活動報告 ・区民からの質問、要望 ・懇親会
3月26日(土)～27日(日)	*萩山神社春祭り夕祭本祭	・囃子屋台の短冊依頼、飾りつけ ・囃子屋台引き子供へ法被貸与、おやつ配布 ・写真、ビデオ撮影

区	月日(曜)	事業名	内容
1区	5月30日(日)	*1区親子おもしろ科学教室(時の駅・ふれあい会館)	・小中学生を対象に、科学体験を通して親睦を深める。
2区	7月17日(土)	*ふれあい広場夏祭り(積善会館にて)	・夜店、ゲーム、踊り、子供花火等。
3区	9月12日(日)	*1区芸能祭(福祉センター大ホール)	・常会、踊りの皆さん方に多数参加してもらい1区の親睦を深める。
4区	10月3日(日)	*ベタンク大会(高森ドーム)	・常会対抗 老若男女皆で楽しく。
5区	6月6日(日)	*下2ベタンク大会(高森ドーム)	・常会対抗で行う。終了後慰労会
6区	7月10日(土)	*下2納涼祭(下2会館)	・区民全員で楽しい夜を過ごす。
7区	10月10日(日)	*下2ふれあい運動会(下2会館)	・町の運動会が無い年に区民全員で運動会を楽しむ。
8区	6月20日(日)	*多世代交流軽スポーツの集い(区民会館・区民広場)	・高寿会、育成会、小中学生、クラブゴルフ、ダーツ、輪投げなど
9区	10月10日(日)	*ふれあい運動会(南小グラウンド)	・常会対抗
10区	1月30日(日)	*区民ベタンク大会(高森ドーム)	・常会対抗
11区	8月8日(日)	*夏季スポーツ大会(町民グラウンド)	・ソフトボール、焼肉大会
12区	10月3日(日)	*ふれあい広場(区民会館)	・ミニ運動会、演芸会
13区	23年1月1日(日)	*第20回元旦マラソン(4区生活センターを出発)	・他地区からの参加も歓迎
14区	1月30日(日)	*ベタンク大会(高森ドーム)	・ベタンク大会
15区	6月20日(日)	*オーイお茶だに(下5会館)	・高齢者と障害者を招待 ゲーム、歌、昼食会
16区	9月12日(日)	*下5スポーツ大会(高森ドーム)	・ベタンク、クラブゴルフ大会
17区	5月23日(日)	*クラブゴルフ大会(親水公園)	・親水公園にて各組、常会対抗の大会
18区	8月1日(日)	*納涼祭(お祭り広場)	・お祭り広場にて各団体と協調して行う。
19区	8月16日(日)	*盆踊り大会(お祭り広場)	
20区	8月18日(火)	*夏祭り	・大煙火大会、灯籠流し
21区	12月23日(木)	*しめ縄作り(出砂原地区館)	・正月飾り講習会
22区	23年1月9日(日)	*どんと焼き(天竜川)	・1月8日以降の土曜日に準備

「御柱祭」

萩山神社式年御柱祭実行委員会

実行委員長 久保田 正博

風薫る五月は新緑の季節、暦の上では早くも夏に入りました。

昨年九月に実行委員会が立上ってから八ヶ月余、資料や写真等を整理してまもなく祭りの締めができそうです。区民の皆様始め、企業の皆様、また区を越えて町の各種団体の皆様には大変お世話になりました。

萩山神社御柱祭は曳行

平成22年
萩山神社式年
勇壮「御柱祭」

コースの変更等を経ながら祭典の形は伝統として受け継がれてきました。しかし今回は松食虫の為里山に赤松の御柱用材の適材が無く、急峻な大島川上流の区山から切り出すことになり日程も大きく変わってまいりました。長い執行期間になりましたが、幸いな事に主要な行事は全て天候に恵まれ、子供木遣り・女性木遣り等、区民の皆様の大勢の参加の元、「山出し」から

「綱打ち」「里曳き・建御柱」まで怪我人も無く無事終了出来たことは本当にありがたかったことと感謝いたします。

全体反省会は予定時間を越えて各方面から様々な御意見をいただきましたが、何より若輩な私達実行委員役員を多くの皆様から支援と御協力をいただいた祭典だったと改めて感じた時間でした。そして終盤には「御柱祭」の歴史を先輩方にお聞きしながら七年後の次

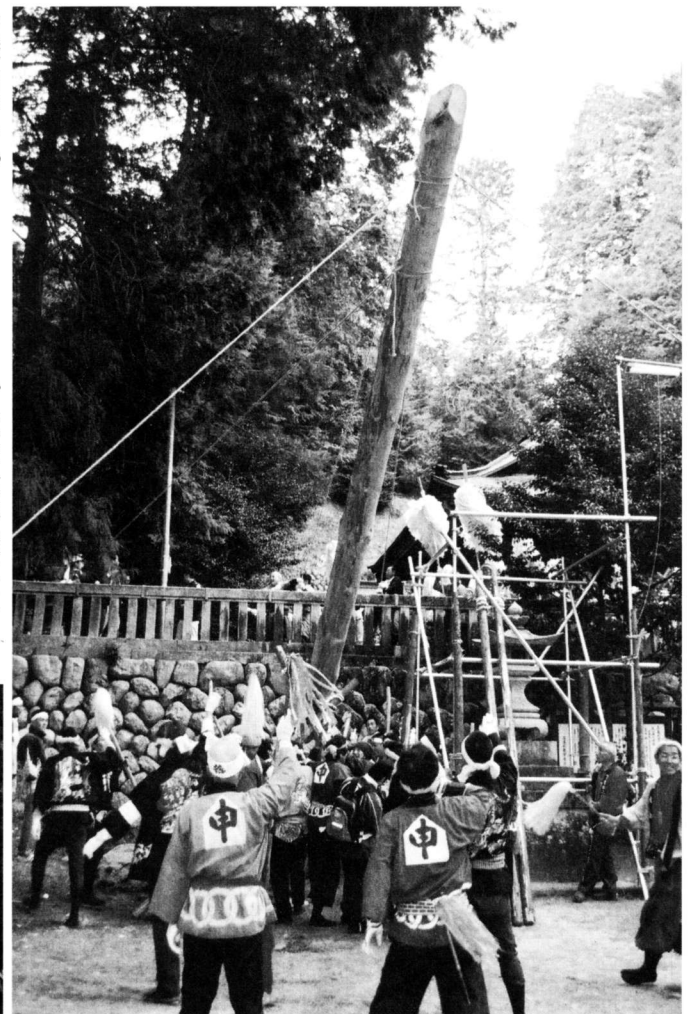


回に向けての提案も出て夢も語られ、よい反省会ができたのではないかと思っています。さて氏子を熱狂させてしまうこの「御柱祭」の魅力とはいったい何なのだろうか。七年に一度のサイクルは、人も経済も記憶もエネルギーを溜めるには程良い期間で、山の環境もある程度維持されます。祭りは巨木を山から人力で曳き出し、神にあがめて神社にたてる単純明快な内容です。派手な衣装をまとい、大きな声を出し、酒を酌み交わし、木落としや瀬落とし、田や畑を曳き回し、時には国道まで通行止めにする等、ストレス発散

の舞台です。

そして重機を使わない限りこの祭りはどうやっても人の力を結集しないとできません。結果として私達は、祭りを通じて地域の同年の絆は強まり、多くの先輩や後輩の皆さんと知り合い、また技術と伝統と文化と歴史をたくさん学べました。これは仕事やテレビゲームや家族内での遊びでは味わえない、とても気持ちのよい充実感となりました。

「平成二十二年萩山神社式年御柱祭」は無事終





日赤奉仕団・女性ふるさとの皆様
おにぎり1,200個をにぎりました

御柱祭を支えた裏方

子供木遣りが初参加



練習の成果を披露する子供達



5区そばの会（五んべえ倶楽部）
そば180食の振る舞い



浦安の舞姫の 皆さん

かたぎり奈さん（6区）
片桐伶奈さん（6区）
小川泉水さん（5区）
北原まどかさん（4区）
宮竹美緒さん（3区）
蜂谷梓さん（2区）
桐澤里菜さん（1区）

平成22年度 萩山神社式年御柱祭 決算報告書

収入総額 2,392,538円 支出総額 2,392,538円 収支差額 0円

【収入の部】

科 目	決 算 額
萩山神社より入金	300,000
下市田区より入金	500,000
保存会より入金	500,000
御柱山出し (リース保証金返金)	50,000
貯金利息	38
企業／個人寄付金合計	487,000
常会／組合寄付金合計	394,500
里曳きご祝儀合計	161,000
合 計	2,392,538

【支出の部】

(単位 円)

科 目	決 算 額
会 議 費	466,384
事 業 費	1,432,148
練 習 費	83,730
備 品 費	134,064
事 務 費	17,215
雑 費	40,917
記 録	100,000
初穂料納め	118,080
合 計	2,392,538



「綱打ち」

地元施設の紹介

り振り手配を
しています。
②観光農業育

高森町営農支援センター

「ゆうき」(二区)

所長 林 清志

高森町営農支援センター

「ゆうき」は、高森町の農業の振興と安定的な農業経営が育成できるよう支援していく目的で、高森町とみなみ信州農協が運営費を出資し平成十八年に設置されました。

愛称の「ゆうき」は「勇氣」「結輝」「有機」の三つ意味があります。

事務所はJA高森支所営農課(旧営農センター)内にあります。

事業の紹介をします。

①遊休農地対策支援事業

遊休地を利用して各地域の営農集団による「そば・大豆」の栽培を推進し、その活動に対して支援・助成しています。

遊休地をなくすための農地の貸し借りの集約対応をしています。又、担い手不足を解消するため、農作業の支援として「猫の手くらぶ」「アグリ支援クラブ」の農家への割

成支援事業

町内で実施されている

さくらんぼ・もも・りんご等のくだもの狩り誘客をし、受付・園地配分しています。毎年、約四千人の方が楽しんでます。

地元の方も手軽に楽しめます、申込み下さい。

体験農業支援として、

県外中学生ホームステイ受け入れ・大根の収穫体験実践・柿の剪定講習会を実施して、多くの方に喜ばれています。

③農業地域活性化事業

友好都市の御前崎市・徳島県美馬市との農産物交流で、高森産のりんご・市田柿を出荷販売し、柑橘類を受け入れ斡旋しています。



施しています。

高森町営農支援センター

「ゆうき」は、紹介したように農業の支援とともに、体験事業等で農業に親しむ事業も行っています。

お気軽に相談にお越し下さい。

又、毎月料理教室を実施

委員会活動報告

水利委員長 小島福夫

本年は気温変動が激しく、遅霜の心配の中、ようやく農作業が本格化して参りました。水利委員長として昨年に引き続き御世話様になります。

四月末に下市田区一斉の井ざらい作業が皆様の協力の中、終了致しました。「井ざらい」の名称について区民の中から名称変更を検討した方が良いのではとの意見が出てお



水としての利用率のウェイトが大きくなっているのが事実であります。水利委員会として仮称「用排水路清掃作業」が良いのではと検討した結果全員一致で賛成されましたので、区三役に名称変更を提案し検討を御願ひして参ります。

区民の皆様には水利行政に御理解、また御協力いただき、感謝申し上げます。本年度もよろしく御願ひ致します。

編集委員会研修旅行 知多半島の旅

時は平成二十二年三月

七日、下市田支館の一行は、一路知多半島に向け出発するのであります。

バスの中ではゲームなどを楽しんでいますと、最初の研修地であります新美南吉記念館には十時ごろ到着。南吉と言うのは

ペンネームで、本名は新美正八さんと申すそうです。童話作家で代表作は「ごん狐」などで小学校の国語の教科書に載っているそうです。展示室を見学していますと、正八さんが二番目に好きにな

た方であってたラブレターだと言うので見た処達筆なので読めませんでした。

次に向かったのは源義経のおやじさんにあたる義朝の菩提寺で、野間大坊

と言う所を訪問しました。さてこの頃になりますと雨も本降り、霧の太平洋に思いを馳せながら、今日一番の楽しみであります美船にての昼宴会で、海鮮料理に舌鼓を打ちました。午後はお土産タイ



清水記

編集後記

三区の名川美沙子さんと、五区の林寿子さんが新たに支館部員となりました。支館部員は同時にこの「萩の郷」の編集委員でもあり、今号から携わっていただいております。

今号は七年に一度の御柱祭の特集を組みました。「萩の郷」は第6号(一九八六年)から連綿と引き継がれる郷の祭の懐かしい写真が載せてあり、当時の模様を蘇らせてくれます。